

# かわらばん

Itabashi city Elementary school  
PTA Federation  
板橋区立小学校PTA連合会

第17号

発行  
板橋区立小学校  
PTA連合会  
編集：小P連広報委員会



令和3年12月広報誌コンクール「教育長賞受賞 板橋第七小学校」、写真撮影のためマスクを外しています

日頃より、板橋区立小学校PTA連合会(小P連)の活動にご理解とご協力くださり、誠にありがとうございます。ニューノーマル時代を迎え、令和三年度の小P連の活動は、新しい考え方で現状に即した活動をめざして参りました。実施が困難になった事業をなくすのではなく、新しい考えに置き換えて更に実現可能な形で充実させていくことを目的として活動しております。

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、さまざまな常識が一変いたしました。これにより、小P連でも多くの事業で実施の見直しや、中止を決断せざるを得ませんでした。これは各学校での行事の開催においても同じ状況を強いられました。このため、いへん厳しい状況下でも、各単Pにおかれましては学校や地域の特性を生かした工夫で、子どもたちの笑顔につながる様々な行事が検討されました。単P会長さまよりお話を伺いましたところ、PTA、おやじの会などが連携しての花火大会や逃走中などのイベント開催、教師の日に子どもたちから先生へのメッセージやテストのまる付けのための赤ペンの寄贈、昨年、一昨年に退任されたPTA役員さんのおつかいがある中、細かいところまで考え抜いた



## ●新たな常識の定着へ

野田 義博

板橋区立小学校  
PTA連合会 会長

末、想い出に残るイベントがいくつも行われたことを聞き、たいへん感激いたしました。このような行事の開催により、感染の影響を懸念して中止するのではなく、どのようにすれば、感染の影響を最小限とした行事が行えるか。状況に応じたノウハウが積み重ねられてきました。この積み重ねは、小P連で共有され、区内全域で共有することで、同様の素敵なイベントが各所で開催されました。さらに今年度は、学校でも運動会、演劇会、展覧会、移動教室さらには周年記念式典の開催など、子どもたちを中心に、学校と地域、ICS、PTA、保護者が一体となり、斬新で新しい形の行事が数多く執り行われました。その成果、たくさん努力は多くの子どもたちの笑顔となり、それを取り巻く大人の笑顔を生み出しました。

これらのさまざまな困難を乗り越えてきた背景には、各校のPTA副会長さま、役員のみならず、多様なご尽力のおかげであると、日頃より感謝しております。

今後引き続き、小P連は「子どもたちの笑顔のため、それを支えるみなさまの笑顔のために。」歩みを止めることなく、子どもたちから視線をそらすことなく、みんなが楽しめる活動を推進してまいります。

何卒、あたたかい目で見守っていただくと共に、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いたします。

## 板橋区「GIGAスクール」

### ●板橋区GIGAスクール構想の推進について



板橋区教育委員会  
教育長  
中川 修一様

板橋区のGIGAスクール構想について、区立小・中学校では、一人一台パソコンを活用した学習が本格的に始まっています。では、どういった活用方法があるのでしょうか。

### 1 先生やクラスメイトとコミュニケーション

Web上で、子どもたちと先生がコミュニケーションをとる機能があります。例えば、子どもたちが取り組んだ課題に、先生はコメントを付けて、子どもたちに返却をする、というようなやりとりが簡単にできます。

### 2 意見の共有

Web上で、意見を共有したり、整理したりする機能があります。手書きのほか、付箋、写真、図形、タイピングした文字などをボード上に入力することも可能です。何人かで同時に編集することもできるので、離れたところにいる相手やクラス全体との意見の共有が簡単に、考えを深め合うことができます。

### 3 自分のペースでドリル学習

朝学習や、授業中の問題演習、放課後の自学自習などの場面で、個人レベルに合った課題に取り組むことができる機能があります。自動採点されるので、自分ができた問題や間違った問題を振り返りながら学ぶことができます。

### 4 考えやアイデアを表現

イラストやテキストなど、インターネットから必要な情報を取り出したり、カメラで撮影したり、様々な方法で子どもたちが考えやアイデアを表現することができます。また、友達同士で考えやアイデアを共有し、互いに学び合うこともできます。

### 5 話し合いや交流

テレビ電話のように、離れた場所にいる相手と直接顔を見て、声を聞いてコミュニケーションをとることができます。みんなで集まらないときや離れた場所にいる場合でも、話し合いができるので、学びや活動の選択肢が広がります。

### 6 多様な情報の収集

一人一台パソコンを活用することで、多くの情報を様々な方法で収集することができます。例えば、インターネットによる検索、友達が作成した資料や情報の共有ができます。

## 板橋区立小・中学校 ITC未来活用宣言

- ま “学び”のために使います
- も モラルを大切に、人を傷つけません
- る ルールをきめて使います



### ●編集後記

今年度の広報委員会の活動も、コロナ禍の中、動きづらいうえに、トとなりました。

会長名鑑の作成では、裏面は各校のキャラクターを募集しました。キャラクターのない学校は校章を掲載しました。かわらばんの作成にあたって先生にありがたうを伝える「教師の日」にスポットを当て、コロナ禍の中、どんな工夫を凝らしてイベントを行ったかのアンケートを取りました。各校のいろんなアイデアを知ることができ、とても参考になりました。比較的活動しやすいイベントだと思えますので、コロナ禍でもできないと嘆くのではなく、実施できた学校を参考にさせていただけたら幸いです。

これからも広報委員会として、いろんな参考になりやすいイベントを紹介していきます。

ホームページでは最新の活動を随時更新しております。是非御覧ください。



<https://ita-sho-p.org/>



広報委員会 委員長  
中根橋小学校 小宮 慶之

### ピーポ110番委員会

**●子どもたちの安全のために**  
 当委員会では子どもたちの安全を守るために、各小学校PTAや地域の方々と力を合わせて各種の事業を進めています。日頃よりご協力ありがとうございます。

十月初旬には、三十九校の小中学校に「合同パトロール」に参加していただきました。コロナ禍という事もあり実施できなかつた学校もある中、複数日の実施や警察官同行も行われ、板橋区各所で防犯活動を精力的に行っていたことができました。

各校より提出いただいた「ことも110番プレート」の登録者データの更新作業を行っていきます。新規で設置希望をいただいている一方で、店舗の閉店等に伴ってプレート返却も受けています。実施マニュアルに説明がある通り、登下校の際に知らない人から「声かけ・ちかちか・つきまとい行為」などの被害を受ける、身の危険を感じる場合に助けを求める非常通報場所となつていただくことを目的としています。登録者の更新作業によって支えていただいている事業です。

各地域での見守りの「目」を増やしていく活動も重要です。学童擁護員（交差点等の誘導員）との情報交換やスクールガード、子ども見守り隊の活動がどの様な活動を行っているかをチェックいただくことも通学路の安全対策の一助になると思われまふ。私も十二月から子ども見守り隊となり、腕章をして見守り参加をしています。今後、PTA役員OBを誘い、増やしていくと思ひます。

ピーポ110番委員会 委員長  
 緑小学校 山田 貴之



### 教育問題対策委員会

**●天津わかしお学校オンライン交流会**  
 単Pでの教育活動における問題点の克服、社会の動向に即した教養習得に向けた活動を推進し、主な活動としては、宿泊研修、研究大会を例年開催しています。

コロナ禍の影響もあり、昨年に引き続き今年度も宿泊研修は残念ながら出来ませんでした。困難な中でも板橋区の教育活動の為に何か出来ることはないかという委員達の熱い思いにより、一昨年及びその前年に宿泊研修で大変お世話なつた天津わかしお学校とのオンライン交流会を2回開催することが出来ました。

一回目は八月二十九日にPTA会長向けに開催し、二回目は十二月十二日に一般保護者向けに開催しました。主な内容は天津大使の児童による学校行事紹介やChromebokを活用した校外及び校内・寄宿舎紹介、質疑応答等で、まさに実際に行つたかのように感じられる素敵な交流会でした。開催後のアンケートでも、『子ども達の笑顔が素敵だった』、『天津わかしお学校をとてても良く知ることが出来た』と大変高評価をいただきました。

このような素晴らしいオンライン交流会を開催させていただいた天津わかしお学校の校長、先生を始めとする先生方、児童のみなさまには大変お世話になり、ありがとうございます。

教育問題対策委員会 委員長  
 蓮根小学校 鬼頭 裕太郎



### 厚生委員会

**●バレーボール大会の開催を実現！**  
 厚生委員会では、十二月十一日（土曜日）に、上板橋体育館および桜川小体育館において、バレーボール親善試合大会を開催しました。

ここに至る二年間、厚生委員会では、各種イベントの開催を模索しながらも、中止を余儀なくされてきました。積み重ねてきた思いをなんとか形にすべく、できないと簡単に決めずに熟慮を重ね、試合スケジュールの見直し、大会公式サイトの開設、大会前二週間の毎日の健康チェックなど、コロナ禍での開催に向けて、様々な工夫や対策を行いました。

また、第二会場として桜川小の皆様にも、多大なるご協力をいただきました。ありがとうございます。

大会当日は、選手の方々の笑顔と熱気が溢れ、リスタートの場を心から楽しむ、前向きなパワーで満ちていました。会場では、開催について、たくさんのお礼の言葉をいただきましたが、このように大会を成功させられたのは、制約が多い中でも、我々運営側の思いを理解し、ご協力いただいた、参加された各チームの皆様のおかげです。

まだまだ難しい社会情勢は続きますが、今回のような取組が引き金となつて、各校の様々な活動がさらに活性化し、ひいては子どもたちに還元されていくことを心から願っています。

厚生委員会 委員長  
 高島第三小学校 板橋 慎寛



### 令和3年度 PTAの「教師の日」取り組み

「教師の日」とは一九九四年にユネスコが十月五日を「世界教師デー」と定め、「先生ありがとうの日」としている国が多くあります。保護者の方より単位PTAを通して小P連に「教師の日」の紹介がありました。小P連役員会で検討し、児童がお世話になつていらっしゃる先生方へ感謝を伝える事としても良いイベントになると思ひ、板橋区全PTAへ「教師の日」のポスターを配布しました。

先生方が普段授業を通して児童を導いてくれていますが、先生方も一年を通して、勇気、笑い、涙、と様々で真剣な想いを持って接して下さつています。児童から改めて「先生、ありがとうございます！」を伝えた各校PTAの今年度の活動をお伝えいたします。

#### ●中根橋小学校

「サブライズ」をテーマに取り組みました。実際には先生にバシないように児童へ桜の花の「ありがとうございます」カードは透けのない封筒を使い、先生に見えないようにしました。朝に先生方が登校した時に驚かせたかったため、前日は先生方が帰つた後に設置しました。

工夫した点は、児童に桜の花の形のカードに先生への感謝の言葉を書いてもらいました。大きな木の幹の絵に桜の花カードを貼り付けて大きな桜の「あり

#### ●桜川小学校

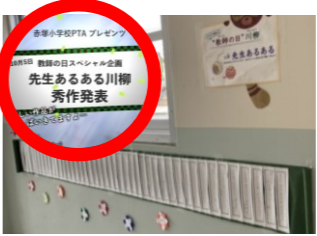
「感謝の気持ちを伝えよう」をテーマに取り組みました。職員室前に掲示板とメッセージカードを設置し、児童にカードを記入し貼ってもらいました。工夫した点は児童が参加しやすくする為、手紙配布ではなく、PTA会長がオンライン朝会を通して直接イベントの説明し参加をお願いしました。掲示期間が一週間ほどしかなかった為、数が集まるか不安がありました。メッセージ・カードが貼られ始めると凄いい勢いで参加児童が増えました。自主的な参加がとも良かったのかと思ひます。

最初、中止も予定しましたが、学校と相談している中、先生方が楽しみにしてくれているのが伝わつて来ました。先生同士の会話も盛り上がり、良いイベントにできたと思ひます。



#### ●常盤台小学校

「先生ありがとうを子どもたちとPTAから伝える」をテーマに取り組みました。朝会で先生への表彰として、日々の採点や添削などに使用するための赤ペンを送りました。赤ペン一本一本に「先生ありがとう」のラベルを添付してラッピングしました。サブライズでのお渡しに、先生方にたいへん喜んでいただきました。児童全員で先生ありがとうの気持ちを伝えることができました。また、多くの保護者より感謝の言葉をいただきました。



#### ●赤塚小学校

「先生あるある川柳」をテーマに取り組みました。児童と保護者へ「先生あるあるの川柳」の募集をかけ、集まった川柳を巻き物にしてプレゼントしました。

優秀作品の発表の場が取れなかつた為、動画を作成して配信を行ったところは苦労しました。先生方からは「ほのぼのと

#### ●上板橋第四小学校

児童と保護者からメッセージカードを集め、それを模造紙に貼つて教師の下駄箱に掲載しました。先生方に配布と回収をお願いすることになりましたが、先生方に分からないように封筒に入れるなどして配布、回収を工夫しました。

当日、下駄箱に掲示した際に先生方は「ビックリ」されていましたが、嬉しそうにじっくり読んでいました。



#### ●ポスターを掲載した小学校

小P連から配布のポスターに「いつもありがとうございます、PTAより」と書き加えて掲載した学校もありました。